

台山屹立四萬八千
奇崖峻削我造天
石橋在上應真所證
羽士兼鴻亦能盤旋
自匪滿堂步不可前
嗚呼怪矣曾主走德
百億師子毫端現焉
高低率走猛氣咆無
躡蹻踰水群兒爭先
中有老大眼如王懸
蓮子真訣墜自巖巖
龍身與否未分何懷
施技迴乃已以古室
蛇足蛇足餘流長傳
安永八年龍集丁亥
峨山容南宗題

Yuji Kikuo Solo Recital
菊央雄司地歌演奏会

III

三味線組歌
と
上方舞山村流

三味線組歌 堺 / 上方端唄物 ゆかりの月 / お話 / 上方舞 石橋

特別出演

山村友五郎 (山村流六世宗家)

賛助出演

長谷川慎 (お話) 菊珠三奈子 (大坂箏) 菊重精峰 (上方系胡弓)

2025.9.28(SUN) 14:30開演(14:00開場)

鍔仙会能楽研修所 全席自由 5,000円

[チケットご予約・お問い合わせ]

kikuouensou@gmail.com 090-8146-2290



菊央雄司地歌演奏会 III 三味線組歌と上方舞山村流

今回で三味線組歌全曲踏破を掲げてのリサイタルは第三回目となります。

この度は山村流六世宗家 三代目 山村友五郎師匠にご出演いただけることとなりました。私が伝統芸能の世界の人に、生まれて初めてお会いしたのが、友五郎師匠でした。友五郎師匠は大坂の藝を守っておいでになりながら、五耀会では同世代の舞踊家の方々と研鑽を積まれておられます。私にとって身近な存在でありながら、藝を追求するお姿に刺激をいただいております。終曲「地唄舞 石橋」にて胸をお借りいたします。

「三味線組歌 奥組 堺」は、私の掲げる三味線組歌全曲踏破シリーズの三曲目となります。奥組には奥組独特の弾き方や撥使いがあり、菊原琴治の雰囲気にとどこまで近づけるかが今回の課題です。堺踊りの踊り歌を中心に構成されており、歌詞には「踊り」という言葉が多くみられます。

「上方端唄 ゆかりの月」は三味線と胡弓との合奏です。

遊女が思わぬ人に身請けされる複雑な心境を歌っており、当時大変流行しました。作曲者の鶴山勾当は大坂島之内で活躍後、江戸吉原に移り住み、江戸に上方唄58曲を紹介しました。今年の大河ドラマの世界感と合わさる曲です。

終曲「石橋」は伝承が絶えていた箇所を菊原琴治が補作しており、今回はその部分も入れた全曲での演奏に、友五郎師匠の舞をご覧ください。

今回も大坂地歌の野川三味線での全曲演奏です。毎年リサイタルを続けていることで、菊原琴治の演奏中の写真などの資料が手元に集まりました。野川三味線の特徴である、水張りの三味線の鳴らし方の理解に繋がっていることに感謝致しております。

特別出演

山村流六世宗家
三代目 山村友五郎



撮影 篠山紀信

菊央雄司 Yuji Kikuo

古生田流箏曲、野川流三絃、上方系胡弓、平家琵琶 演奏家。人間国宝故菊原初子の後継者菊原光治師に12歳で入門。

上方胡弓を菊津木昭師に師事。野川流三味線組歌及び古生田流箏組歌、両巻を伝受。

地歌舞地方として舞台やTVに出演する等、地歌三味線の伝統を承継しながらも現代邦楽やオペラ、和太鼓等とも共演をする新しいスタイルでの演奏にも目を向け、韓国、ヨーロッパ各国等でも公演。

長谷校校記念第6回全国邦楽コンクール最優秀賞、文化庁奨励賞、大阪舞台芸術新人賞、大阪市咲くやこの花賞、大阪文化祭奨励賞、日本伝統文化振興財団賞、令和五年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。菊央雄司リサイタル「じうた人」など多数開催。公益社団法人当道音楽会会員、琴友会所属、「菊央雄司地歌の会」主宰。

NHK文化センター西宮ガーデンズ教室講師。平家語り研究会会員。文楽研修生講師。



鍊仙会能楽研修所

東京都港区南青山4-21-29

東京メトロ《銀座線・千代田線・半蔵門線》
「表参道駅」下車 A4出口より徒歩3分

